



鷹中だより



- ◇校訓 「響（ひびき）～自分の心に みんなの心に～」
- ◇教育目標 「自立 持続 感動」
- ◇重点目標 「主体的に学び、判断し、表現できる生徒の育成」

TEL : 87-2008・87-2104 FAX : 87-2104 メール : takachuu@educet.plala.or.jp

人と会う喜び

校長 大場 八仁

早いもので11月も今日で終わり、令和5年も残すところあと1ヶ月となりました。

11月の中学校は、10日に今年度の自転車通学を終了し、平日の部活動終了時刻も17:30に変更するなど、生活スタイルを1年の最後となる冬モードに変えながら過ごしてきました。学習面でも、3年生は三者面談を終え中学校卒業後を見据えた生活に入ったほか、1・2年生は2学期のまとめとなる期末テストに向けた学習に熱心かつ真面目に取り組んできました。また、朝の挨拶運動では、生徒会本部が呼びかけている『目を見て、笑顔の挨拶』についても日増しに生徒の間に浸透してきており、私は鷹中生全員の成長をこの11月も実感することができ、大変うれしく思っています。

近隣の市町村では、インフルエンザウイルスが猛威をふるい、学校閉鎖となる小中学校が多数あると聞いています。うがい・手洗いや咳エチケット、十分な睡眠とバランスのとれた食事など、自分を守り、仲間を守るための簡単な基本的感染対策を当たり前の習慣として、明日からの12月も、健康で充実した生活を送ってほしいと願っています。

『我逢人（がほうじん）』



『我逢人』とは、訓読みでは「我、人と逢うなり」と読み、人と人との出逢いの尊さ・喜びを三文字で表した禅語です。

禅語とは、仏教の様々な宗派の一つである禅宗の教えを簡潔に表現した言葉です。そして、禅宗は、仏教を開いた釈迦が、座り続ける座禅によって悟りを開いたことを特に重視して開かれた宗派で、悟りに至る大切なポイントを短い言葉に凝縮し口伝したと言われていています。『一期一会』や『日々之好日』などは特に有名ですが、『我逢人』もその一つと言えます。

さて、新型コロナウイルスの感染法上の取扱いが5類となり、今年は、コロナ前の「当たり前の生活」に徐々に戻りつつあります。11月2日、鷹栖町児童生徒音楽発表会が4年ぶりに開催され、町内児童生徒の元気な歌声がメロディーホールに響き渡りました。そして、来場いただいた多くの皆様に感動を届けるとともに、鷹栖の子供たちの立派な成長を見ていただく機会となりました。この他、中学校では、職場体験学習や高校の体験入学など、昨年まで制限があった行事も今年は制限なく実施され、生徒は関係の方々と直接会って話しをし、自分の目で見て、理解を深めることができました。生徒にとって、この実際のものや人との出会いで得られた直接の経験は、素晴らしい学びになっているはずですが、私自身も今年は、現地に出向いて行われる会合での会議や研修会が多くありました。実際に人によって意見交換を行うことで、私自身の学びを確かなものにできたと同時に、新たな発見に気づくことが多々あり、直接人と会うことの有益性を改めて強く感じています。

『我逢人』の言葉を残した道元禅師は、修行を重ねる中で抱いた疑問を解決するため、日本国内を自らの足で遍歴します。しかし、腑に落ちる答えは見つからず、自分の求める教えを得るため中国にまで渡り、約2年各地を行脚したそうです。そして、ようやく念願の師と出逢います。そのとき「まのあたり先師をみる。これ人にあふなり。」との言葉で、人との出逢いこそが全ての始まりだと述べています。

この道元禅師のように、求め願った出逢いであれば尚更ですが、些細な偶然であっても、人との出逢いは何かを生むものです。人は自分とは異なる領域をもって生きています。そのため、出逢いは私たちを広く深く成長させてくれます。ですから、コロナによる制限がなくなり自由に人と会えるようになった今こそ改めて、人と逢うことを大切に、人と逢える場を大切に、そして、人と逢う自分の姿（出逢いを大切にしようと思う自分）を大切に、したいと私は思っています。生徒には、自分だけで考え、自分だけで行動していたのでは見つからないものを、人との出逢いから見つけてほしいと願っています。

旭川実業体験学習会

11月10日(金)、2学年が旭川実業高等学校に行き、体験学習会に参加してきました。今回は、商業科・機械システム科・自動車科についてそれぞれの科の特徴的な活動を体験することができました。

- ・商業科：写真の合成や編集など
- ・機械システム科：プロジェクトマッピング、3Dプリンタなど
- ・自動車科：ラジコン、ドローン操作など



鷹栖町児童生徒音楽発表会

11月2日(木)、鷹栖町メロディーホールで音楽発表会が開催されました。本校からは2学年の2クラスと、吹奏楽部が参加しました。A組が『心の瞳』、B組が『YELL』を合唱し、吹奏楽部は2曲演奏しました。最後には各学校の代表10名がステージに上がり、会場の小中学生総勢180名で、「BELIEVE」を合唱しました。



全国学力・学習状況調査について

先日、本校の結果についてお知らせしましたが、各市町村ごとの結果については、北海道教育委員会のHPに北海道教育委員会教育長のコメントとともに掲載されています。ご覧ください。

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/168876.html>

おねがい

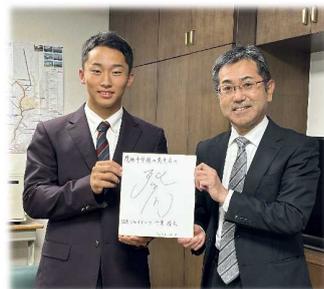


自転車通学も終わり、生徒を車で送迎する機会が増えています。駐車場内ではお互いに譲り合い、トラブルのないよう気をつけてください。

ドラフト育成指名選手

11月1日(水)、プロ野球ドラフト会議2023で読売ジャイアンツから育成6位指名を受けた、旭川明成高校の千葉隆広さんが、母校である鷹栖中学校を訪問しました。

千葉さんは中学校時代にはクロカン部にも所属し、全道大会で活躍しました。今後の活躍を楽しみにしています。



異学年交流「バースデーチェーン」

11月7日(火)の全校集会では各部活動の好成績の報告・表彰や各常任委員会からの連絡後、異学年交流「バースデーチェーン」を行いました。声を出さずにジェスチャーなどで誕生日ごとに集まる交流です。全校生徒が一つになり、みんなが笑顔となる活動となりました。生徒会のみなさん、お疲れ様でした。



Cafe de Takachu

12月8日(金)18:30~PTA総務部が主催で開催します。コロナ禍のためしばらく中止となっていましたが、今年は復活しました!「カフェでちょっと一息しませんか?」の合言葉で始まった鷹中懇談会です。次号ではCafe当日の様子をお伝えします。



- 1日(金) 1. 2年2学期末テスト②
- 8日(金) Cafe de Takachu
- 12日(火) 全校集会
- 14日(木) 全学年参観日
 - 1学年給食試食会
 - 2学年親子レク
- 18日(月) 職員会議のため午前授業
- 21日(木) 大掃除
- 22日(金) 2学期終業式
- 23日(土) ~1月15日(月) まで 冬季休業